

JA取扱商品の良さを実感 ～JA生活事業視察研修会を開催～

JA生活事業で取り扱う商品の製造工程を実際に見る事で、品質の良さや安全性の高さを実感してもらおうと、JA全農かながわ生活課は、5月14日、JA生活事業担当者向け「視察研修会」を開催した。県下4JAから生活担当部署の職員21名が参加した。

最初の視察先は「JA全農かながわ秦野総合工場」。「エコープ丸細うどん」、国産小麦粉使用「季のうどん」など、JA生活事業の基幹品目「乾麺」などを製造する。工場の沿革や製造能力、「乾麺」の製造方法、安全な乾食品を製造するための厳しい検査体制などの説明を受けた後、参加者は稼働中の工場内を巡り、品質を均一に保つ技術や、異物混入を排除する安全管理の仕組みなど、工場職員の説明に耳を傾けた。見学後は美味しい乾麺の茹で方を全員で実習し、原料が異なる三種類の製品を試食して、味や食感の違いを比較した。



乾麺の製麺工程を見学するJA職員



「足柄茶」工場で金属探知機の説明を受ける



足柄茶の茶園で新芽の様子を確認する参加者

続いて、(株)神奈川県農協茶業センターを訪れた参加者は、「足柄茶」の一元集荷体制について説明を受け、新茶の季節でフル稼働中の工場を巡り、徹底した品質管理下での製茶工程を見学した。また、JAかながわ西湘管内の「米茶営農組合」(マイティー)の茶畑見学やお茶の淹れ方の実習を通して、「足柄茶」の生産現場から商品知識まで幅広く理解を深めた。

研修に参加したJA横浜の担当者は、「日頃見る機会の少ない工場内部や茶園などを見学できて勉強になった。今後の推進に役立てたい」と話した。参加者アンケートには「製造工程などを実際に見る事で、取扱商品の理解と関心が深まった。お客様に安心しておすすめできる」「工場の細やかな安全管理、工場職員の高い安全意識などを感じ、良い商品だと納得できた」などの感想が寄せられた。